

## ‘おえっ’ てこない内視鏡！

時々、キリキリ胃が痛む！いつも酸っぱいものが上がってきて胸やけする！なんとなく胃が重い。吐き気・膨満感・もたれ・食欲不振。胃の症状は多彩で誰もが経験するため、ついついいつものストレスのせいと決めつけていませんか？バリウムは飲みにくいし、ましてやカメラなんて二度と御免！って置いて放置していませんか？最近では以前に比し日本人の胃がん死亡率は減少傾向にあるとはいえ、



依然として肺がんについて2位と多く、早期胃がんの発見には、胃内視鏡検査は不可欠です。最近では、直径5.5mm程の極細内視鏡が開発されたため、胃内視鏡検査が鼻から出来るようになったのをご存知ですか？鼻から挿入すれば、舌の付け根に内視鏡が触れないため、あの嫌な‘おえっ’という感じがなくなり、検査中も画面を見てしゃべりながら検査が出来て安心！局所麻酔も少量で済み、また内視鏡が細いため、胃の動きを止める注射も必要なく、身体にも優しい。検査中の苦痛が少なく身体にも優しいということは、心臓への負担も少なく済み、高齢者や心臓の悪い方でも安心！胃の動きを止めずに観察できるため動きの良し悪しの観察も可能！まさに良い事づくめ！



内視鏡を使った処置や手術は従来の口からの内視鏡が必要ですが、病気の早期発見や胃がん検診目的なら鼻からが最適！これからは、内視鏡も検査と治療で使い分ける時代！以前に口からの検査で辛い思いをされた方や、人から苦しいと聞いて検査をためらってみえるあなた！胃の検査を勧められた際には、『最近では、検査だけなら鼻からしてもらえますか？』って尋ねてみてください。もちろん当院でも、オリンパス製の最新の極細内視鏡機器を導入しておりますので、御安心下さい。「全身麻酔でしてもらえますか？」なんてことは決して聞かないで下さいね！

